

報道関係者各位

2011 年 3 月 16 日(水)

NPO 法人・秋葉原観光推進協会が進める**<おもてなしプロジェクト&キャラクター発表会>****平成 22 年度中小企業庁 JAPAN ブランド育成支援事業 報告会****おもてなしマーク & キャラクターを活用した秋葉原 PR 活動に
デジタルハリウッド大学の学生チームも参加****日時:2011 年 3 月 17 日(木)15:00~****会場:富士ソフト アキバプラザ レセプションホール**

IT ビジネス・英語／留学・クリエイティブを学ぶ、デジタルハリウッド大学(メインキャンパス:東京都千代田区、秋葉原 学長:杉山知之)では、NPO 法人秋葉原観光推進協会(AKIHABARA TOURISM PROMOTION ASSOCIATION=略称:ATPA[あとぱ](以下:ATPA)／理事長 宝田 篤)が進めている「おもてなしプロジェクト」がこのたび発表する、おもてなしマークならびに新キャラクターを活用した秋葉原の PR 活動に、本学在学中の学生チームが参加させていただくこととなりました。

そのおもてなしマークならびに新キャラクターの発表会が、3 月 17 日(木)、富士ソフトのアキバプラザ・レセプションホールにて開催されます。

ATPA は、中小企業庁・JAPAN ブランド育成支援事業の採択を受け、秋葉原ならではの地域ブランド創出に着手、秋葉原の魅力を最大限に活かすために、ATPA ではブランド育成の新事業、「おもてなしプロジェクト」を起ち上げられました。

「おもてなしプロジェクト」は、電気店・ソフト関連店が横断的に参加でき、国内各地の秋葉原ファンは勿論のこと、新たな購買層として注目されている外国人観光客へ免税商品だけでなく日本のポップカルチャー企業と連携し街のブランドアップ、地域の産業振興を支援する意欲的な試みです。

今回、PR 活動に参加をする本学の学生は、1 年生必修のセルフ・ディベロップメント科目「社会人基礎力」授業において取り組んだ、「千代田区・八王子市を対象とする地域課題解決企画」の優秀企画発表会において、“デザインを通じて秋葉原を知ってもらう”というテーマのもと、ATPA より秋葉原マップの裏面デザインやイベントポスター制作案件を頂き実施させていただいたことがきっかけとなり、授業終了後も継続して活動させていただいております。

【開催概要】**おもてなしプロジェクト&キャラクター発表会****平成 22 年度中小企業庁 JAPAN ブランド育成支援事業 報告会****日時:2011 年 3 月 17 日(木)15 時開始****会場:富士ソフト アキバプラザ レセプションホール**

●「おもてなしマーク」&プロダクション I.G 制作のキャラクターたちを発表

ATPA では上記のコンセプトで、同プロジェクトに参加する店舗に掲げ、また商品にも添付する「おもてなしマーク」を策定しました。更に、同プロジェクトを紹介する案内役として新キャラクター8体を策定。キャラクター制作には、『攻殻機動隊』や『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら〜』アニメ化を手がける、世界的にも有名なアニメ制作会社・Production I.G.が手がけました。



おもてなしマーク



新キャラクターの一人「秋津みつば」

「おもてなしマーク」&キャラクターを活用した秋葉原のPRには、デジタルハリウッド大学の学生チームも参加します。

● 秋葉原ソングもお披露目 !

「おもてなしプロジェクト」が大切にしている「多種多様な人々に開かれ(Open Mind)、交流に溢れた(Communication)、安心で安全(Safety)な秋葉原のメッセージを込めた秋葉原ソングもレコーディングしました。覚えやすいメロディ、覚えやすい歌詞、元気で明るい楽曲に仕上がり、当日は新人歌手によるお披露目をさせていただきます。

【参考：セルフ・ディベロップメント科目「社会人基礎力」とは】

主体的な社会人として必要な「社会人基礎力」とは、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力(12の能力要素)から構成されており、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」として、経済産業省が2006年から提唱しています。

本授業は、2010年4月より1年生(約300名)を対象として、この「社会人基礎力」を身につけることを目的として、社会人の先輩である本学教員からの職業観・キャリア観を磨く講義、グループディスカッション、問題解決手法の体得、を経て、実際に「千代田区・八王子市を対象とする地域課題解決企画」をテーマとし、地域に出て、フィールドワークをしながらプロジェクトワークの、実行および大学生ならでの独創的な企画の提案をして参りました。

地域課題解決をプロジェクトとして設定し、メンバーに対する教員からの指摘を繰り返し、あるいは、地域の方々からの多大なご支援、ご依頼を受けながら、企画を実施いたしました。

社会と触れあい、問題に対して解決策を出し、そして解決策を評価頂く、という体験を通じて主体



的に物事に取り組み、自分たちの力をどう生かしていくのか、という観点を身に付けることを目的として
おります。

©プレスリリース：<http://www.dhw.co.jp/grand/pressroom/release/2011/110128/>

【本件に関する問い合わせ先】

デジタルハリウッド株式会社 広報室：川村

Mail：press@dhw.co.jp

TEL：03-5281-9248

デジタルハリウッド公式サイト：<http://www.dhw.co.jp/>

学長ブログ「スギヤマスタイル」：<http://www.sugiyama-style.tv/>

過去のプレスリリース：<http://www.dhw.co.jp/grand/pressroom/release/2010/>
